



SDS安全データシート

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 : ガラス発泡材
製品名称 : バイオポーラス
会社名 : ポーラス・インフィニティ株式会社
担当部署 : みどりプラント
住所 : 東京都千代田区岩本町1-4-2 H・ビル1F(東京本社)
群馬県みどり市笠懸町鹿3130(みどりプラント)
電話番号 : 03-5823-4623(本社)
FAX番号 : 03-5823-4621(本社)
緊急連絡先 : 0277-46-7350(みどりプラント)
作成・改定日 : 2020年3月5日

2. 危険有害性の要約

GHS分類 : 分類対象外
危険有害性情報 : 粉じんを長期間または度重なる吸入によって呼吸器系障害を生じる恐れがある。
環境に対する有害性 : 土壌の汚染に係る環境基準値以下であり土壌として還元できる。

3. 組成、成分情報

化学物質または混合物の区別 : 単一製品
化学名または一般名 : ソーダ石灰ガラス
含有率 : ソーダ石灰ガラス >99wt%
管報公示整理番号 : 対象外
Cas No. : 65997-17-3

4. 応急処置

目に入った場合 : 目をこすらず直ちに多量の水で洗い流す。違和感がある場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合 : 払い落して水で洗い流す。かぶれた時は医師の診断を受ける。
吸入した場合 : 風通しの良い新鮮な空気の場合に移動し、気分が悪い時は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合 : 多量の水または食塩水を飲ませ吐かせる。多量の場合は医師の診断を受ける。

5. 火災時の処置

消火法 : 燃焼しないが高温で軟化する。
軟化時に放水すると水蒸気が発生するが大量の放水で問題なし。
消火剤 : 燃焼しない。消火剤とは化学反応しない。

6. 漏出時の措置

封じ込め及び浄化方法 : 粉じんが飛散しないよう風上からほうきや真空掃除機等で回収する。

容器包装が破損した場合テープ等で目張りして再漏出を防止する事。

7. 取り扱いおよび保管上の方法

取扱い : 破袋防止のため、製品を投げ積みしない事。
荷崩れ防止のため積み重ねは丁寧に行う事。
保管 : 屋内での保管が望ましい。

8. ばく露防止及び保護装置

管理濃度 : 日本産業衛生学会勧告値(2003): 吸入性粉じん: $2\text{mg}/\text{m}^3$
: 総粉じん : $8\text{mg}/\text{m}^3$
(第3種粉じん: 石灰石、その他無機及び有機粉じん)
設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置をつける。
保護具 : 防塵マスク、保護メガネ、保護手袋、作業服、作業帽、作業靴

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 製品で異なるが、白、灰、薄い茶、薄い緑色
臭い : 無臭
真密度 : $\text{約}2.5\text{g}/\text{cm}^3$
嵩密度 : $0.5\sim 1.1\text{g}/\text{cm}^3$
粒形状 : 部分的に角のある不定形体
pH : 未処理品は最大pH10.5、pH7.0前後まで調整可能。
溶解度 : 水、有機溶剤に不溶
軟化温度 : $\text{約}720^\circ\text{C}$
揮発性 : なし

10. 安定性および反応性

安定性 : 通常の取り扱い条件下では安定。
危険有害反応可能性 : フッ酸、強アルカリに侵される。
避けるべき条件 : 知見なし
混触危険物質 : フッ酸、強アルカリ
危険有害な分解生成物 : 知見なし

11. 有害性情報

急性毒性 : 知見なし
皮膚腐食性および皮膚刺激性 : 知見なし
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性 : 知見なし
呼吸器感性又は皮膚感作性 : 知見なし
生殖細胞変異原性 : 知見なし
発がん性 : 知見なし
生殖毒性 : 知見なし
特定標的臓器毒性、単回ばく露 : 知見なし
特定標的臓器毒性、反回ばく露 : 知見なし

吸引性呼吸器有害性

: 知見なし

12. 環境影響情報

PRTR対象物質の使用および含有はない。

13. 廃棄上の注意

通常は土砂に混ぜて土壌改良材、埋立材として利用、又は一般不燃産業廃棄物として扱う。

14. 輸送上の注意

国際規制 : 国際分類に該当しない

国内規制 : 規制なし

輸送上の安全対策 : 転倒、落下、破損が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
容器包装が破損し漏洩した時は、6.漏出時の措置により対応する。

15. 適用法令

労働安全衛生法(じん肺・粉じん障害防止規則)に該当しない。本製品は、本法に準じた取扱いが望ましい。

16. その他情報

引用文献

このSDSは、現時点で入手できる日本国内関係法の資料、情報、データに基づいて作成したものです。その情報は必ずしも十分ではありません。ユーザーは、このSDSに記載された内容の適合性については、ユーザーの責任において、その目的に応じて調査、判断してください。